



# 耐久 ~真健美~



平成26年度  
和歌山県立耐久高等学校 全日制  
Monthly Times July  
マンスリータイムズ 7月号

## ◆ クラブ壮行会(インターハイ・近畿大会・硬式野球)



2日(水)インターハイ等の全国大会、近畿大会、夏季選手権等の県大会に出場する部活動の壮行会が行われました。壮行会では、清水校長から高体連の赤いマーク(3つのK)の言葉「クラフト;カ クンスト:技 クラールハイト:明朗な精神」を紹介して、激励の挨拶がありました。順次、各部活動クラブより、代表が挨拶を述べ、最後に生徒会長の激励挨拶が行われました。近畿大会や全国大会では、県大会以上の強豪校との対戦となります。練習の成果を思う存分発揮し、悔いのない戦いをしてください。出場選手皆さんの健闘を心からお祈りします。



## ◆ お昼休みマンドリン部・中庭コンサート



7日(月)お昼休み、中庭で恒例のマンドリン部のコンサートが行われました。雨が心配される中で約20分、マンドリンの独特な音色に魅了されました。一瞬にして、中庭が音楽ホールとなり、楽しいお昼休みのひと時となりました。☆☆演奏された曲は、次の2曲です。  
◇1「ジブリメドレー」◇2狂詩曲「海」



## ◆ 大学セミナーについて



7日(月)2年生全員を対象に、「耐久高校大学セミナー」が行われました。大学セミナーでは、大学で行われている講義内容を、生徒が希望する講座を2つ選び受講しています。今年は、15大学から講師をお迎えし、様々な分野の講座が開講されました。テーマは、薬学「感染症を知ろう」、看護学「看護学」、心理学「ワーク・ライフ・バランスの発達心理学」、文学「文学について」、機械工学「機械材料の強さ」、経済学「経済の広がり」、理学「生物がモノづくりの主役になる未来」、理学・作業療法「心とからだのメカニズム～作業療法と理学療法の視点から～」、外国語学「英語の不思議世界を垣間見る」、法学「刑事裁判の判例について考える」、食物・栄養学「野菜の栄養と健康」、保育・幼児教育学「保育者の仕事とは?」ほか。☆☆大学セミナーをきっかけに、自らの進路選択について、深く考えるきっかけになったことでしょう。



## ◆ 清水校長先生の情熱講話について



7日(月)3年生の総合的な学習の時間に清水校長先生自らが、熱のこもった「情熱講話」を行いました。初っ端に「あしたがあるさ」を歌われました。この歌は、CMソングだが、元々は坂本九さんが歌ってた曲であり・・・と解説を入れながら本題に入っていました。「人生には越えなければならない大きな壁がある。」30年40年と人生を生きてきた大人は、汗を流して解決した経験の一つや二つがある。しかし、3年生には汗を流して解決した経験がないかもしれない。大人はこの後の展開が経験で分かるが、君たち3年生は、どうすればよいか、まるで見当もつかないかもしれない。でも、「大きな壁の前」で、どうにもならないと諦めることが、一番よくない。そこで終わってしまう。決して諦めず、壁の前で「うろろろ」してほしい。堅い壁でも、ひよっとしたら、小さな穴があいているかもしれない。向こうから崩れてくれるかも知れない。特にこの夏は「頑張れ3年生」と激励しました。次の日、職員室に来た3年の或る女子生徒が「校長先生、昨日はお話有り難うございました。とても参考になりました。」とお辞儀しました。その光景を見てとても爽やかな気持ちになりました。



## ◆ 和歌山県知事さんの特別講演会について



14日(月) 和歌山県知事・仁坂吉伸様にさかよしのおぶによる「がんばれ耐久高生!」と題しての特別講演会が全校生徒対象に行われました。知事さんは、時には生徒から発言を聴きながら、次の5つに分けてご講演されました。1 お勉強がよく出来るようになって大学にホイホイ入れる方法を教えます。2 社会に出てから何が大事か。3 世界の中の日本 ~ほんまかいなどんでや~ 4 和歌山はすごい・耐久高校はすごい 5 「いつか終る」と「日々の感激」 ☆「いかに人生を生き、社会の中で在るべきか」を若者が意識することが重要とされる今日、和歌山を元気にするために、どのような気概を持つべきかなどを、知事の耐久高校への想いを交えながら、「耐久生は耐久高校の伝統とどう向き合うべきか」を趣旨に、耐久高校生に熱いエールをおくっていただきました。



## ◆ 和歌山大学キャンパス訪問について

20日(日) 和歌山大学キャンパス訪問が行われました。生徒127名、保護者5名が、バス4台に分乗して出発しました。大学では、学部、学科別に説明が行われ、今年度入試の説明、学生生活の紹介、研究内容の紹介等が行われ、模擬授業も受講しました。この他、大学の施設見学も行われ、キャンパスの広さや充実した研究施設を見学しました。熱心に説明や講義に耳を傾け、進路選択の参考になる情報を得て、大学での生活を具体的にイメージし、自らの目標を定める貴重な機会となりました。